

境南小学校 開かれた学校づくり協議会だより

Vol.2

突然ですが…

Q「開かれた学校づくり協議会」ってどのような会かご存知ですか？

A・学校運営のパートナーとなり、委員(境南小は校長含め12名)の合議制による協議をおこなっています。年度の前半は、学校運営方針や年間予定を確認したり、学校の子どもたちの様子を見て相互理解を深めます。中期は学校に必要な人材像を検討し議論を深めます。そして後半は、学校関係者評価や地域学校協働活動の推進状況などの振り返りをおこない、次年度の学校運営の基本方針の承認をおこないます。

今年度の境南小の協議会の熟議テーマは…

- ◎第1回:「行くのが楽しい学校ってどんな学校?」「協議会ができることは?」
- ◎第2回:「児童アンケート(行きたくなる学校ってどんな学校?)結果をもとに、地域でできることは?」
- ◎第3回:「先生アンケート(行きたくなる学校とは?地域に協力してほしいことは?)結果をもとに、地域でできることは?」「教員公募に向けて、地域が求める教師像とは?」

第4回協議会(令和5年9月25日)

●熟議テーマ:「児童アンケート結果をもとに、実現可能なことは?」

今回は、「地域でできること」と「学校でできること」に分けて、具体的に何ができるかを話し合いました。(グループごとに、子どもたちが日頃使用している chromebook の Jamboard を使ってみました!)

地域としては、「【総合】に関わっていくことから始めてみよう」「境南小・人材バンクのようなものがあるといい」「地域コーディネーターの古田委員を通してつながっていきましょう」という意見がでました。

※Jamboard



●教員公募にむけて、ホームページに掲載する文言を決定しました。

「子どもや保護者、地域のことをよく考え、様々な新しい取組に前向きにチャレンジでき、自ら考え行動していく教員」

第5回協議会(令和5年10月23日)

●熟議テーマ:「【人材バンクリスト】の作成、運用に向けて」

総合的学習の時間である「境南タイム」は、子どもたちの思いから単元が構成されていきます。そのテーマが決まったときに連絡がとりやすく、運用しやすいリストとはどういうものかを全員で考えていきました。まずは、来年度の運用に向けて、委員たちのリストを作成することになりました。

●学校評価項目について

保護者、地域、児童に向けて実施する「学校評価アンケート」での「開かれ」の項目について、文言を検討しました。その結果、「学校と開かれた学校づくり協議会は、連携して、学校、家庭、地域と協働した教育を行っている」という項目に決定しました。

●研究授業(10月18日 4年1組【総合】)、協議会に参加して～島倉委員より～

子どもたちは活発に議論していて、どのような方向にいくか心配になるところもあったが、とても絶妙なタイミングで、「本当にそれで大丈夫？」というような先生からの問い返しがあり、それによって、子どもたちが新たな気づきを得ていた。授業後の協議会にも参加し、先生の問い返しが、子どもたちがより深く広く思考するための「批判的問い返し」というものを知った。先生たちも活発な話し合いがされていることもわかり、このような取り組みをされていることを他のみなさんにも知ってほしいと思った。

澤木委員と南委員が研究授業・協議会
に参加しました！

日時: 令和5年11月1日(水) 5時間目 6年2組 総合「おみやげで境の魅力発信！～プロジェクトS～」

～研究授業の様子～



～協議会の様子～



～委員からの感想～

グループトークや双方向の授業がされていて、子どもたちがとても楽しそうだった。このような授業が今後の中学校や社会にもつながるものと思った。